

新宮市立城南中学校は20日、同校体育館にドコモショップ新宮店の湯川嗣郎副店長

を招き、インターネットの使い方について教わった。181人の生徒は、自分の身近なインターネットによる危険を聞き、使い方を見直した。

スマートフォンは、音楽や動画、勉強にも使用され、災害時の家族との連絡にも欠かせないものとなっている。しかし、スマートフォンや音楽プレイヤーには依存性があり、無料通話アプリなどのSNS、ゲームや動画に気を取られ、朝寝坊や歩きスマホの原因となる。湯川副店長は①ルール作り②利用

時間制限の設定③深刻な場合は専門家に相談することを勧めた。

また、無料通話アプリでのいじめ(グループからはずし、メッセージをブロック。返信が遅いと文句を言われる)や、

解が起きやすい」「ネットは匿名ではない」「いじめは犯罪につながる可能性がある」と注意を呼びかけ、いざという時は①証拠を残す②ひとりで抱え込まず、すぐに保護者や先生に相談する③専門機関

ネットの正しい使い方

「スマホ利用のルールを」

写真・動画でのいじめ(相手を脱がして写真や動画を撮り、SNSやメールで広める)、掲示板・ブログ・メールでのいじめ(誹謗中傷やメールでの悪口)がある。

「文字だけのやりとりは誤

に相談すると喚起した。

そのほか、誘い出しやなりすまし、個人情報漏えい、ネット詐欺、チェーンメール、著作権と肖像権について、ビデオを交えながらわかりやすく解説した。

城南中で講座

生徒会長の玉置七彩さんは「中学生のほとんどがスマートフォンを持っており、とても身近なことに感じた。アプリの正しい使い方や、写真から位置情報が分かってしまうことなど、勉強になることが多く、気をつけなければならぬと思う。生徒会では毎年、ネットのルールについて考えており、次期生徒会にも引き継いでほしい」と語った。

久安孝典教頭は「生徒のほとんどが携帯を持っているので、湯川副店長の話を実際に聞いていた。今回はじめての試みとなったが、身近な話でとても良かった」と述べた。

(香川真夕)

